

北野病院からのお知らせ

北野病院 ボランティアグループについて

新型コロナウイルス感染症の流行で今年の4月から当院ボランティアグループのボランティア活動が休止状態にあります。ボランティアさんへの感染防止策として、極力人との接触を避けるために活動休止とさせていただきます。

当院の外来診察は通常通り診察しておりますが、入院患者様への面会は基本全面禁止、患者様向けの勉強会・演奏イベント・講演会もすべて中止の状況です。しかしながら、在宅でのボランティア活動、小児科病棟で使用する点滴衣の作成・その点滴衣のスナップボタン付け作業、希望者へ配っていますマスクの作成などの活動は今も継続中です。

誰もが感染への不安、生活の急激な変化など、多くの方が疲れやストレスを感じておられる中、今なお在宅ボランティア活動を続けてくださる事に感謝しております。北野病院ボランティアグループの底力を感じています。

以前のような生活にはまだ戻れない事へのもどかしさを感じつつ、一日も早く北野病院ボランティアグループの活動すべてが再開する事を願う毎日です。



在宅ボランティア活動かのご紹介



ボランティアさんの作品をご覧ください。
得意の洋裁の腕を活かし、ご自宅で小児科で使う点滴衣を縫ってくださいます。
肩のスナップボタン付け担当のボランティアさんは、
笑いながら「テレビを見ながらつけるわ～」とさせていただきます。
点滴衣を利用いただいたお母さんの評判も上々で、
とってもかわいいと大好評です。



※個人情報保護のため写真の一部に画像処理を施しています。

Twitter開設しました。

より多くの患者様に当院のことを知っていただくために、この度、北野病院公式Twitterを開設いたしました。広報室より院内の取り組みやイベント情報、日々のちょっとしたことなど親しみを持っていただけるよう広報しています。

ぜひお気軽にフォローしてください。

https://twitter.com/kitano_koho



～表紙写真撮影者からのコメント～

撮影者：画像診断クリニック(放射線科) 係長 伊藤 寿夫

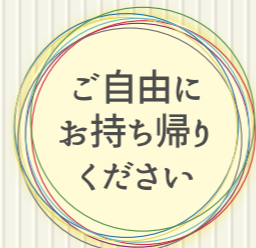
大阪にも紅葉の名所が沢山あります。
この写真は、以前、大阪吹田市にある万博公園の日本庭園で撮影しました。
題名をつけるとしたら「紅葉流水」にでもなるのでしょうか。
都会の喧騒の中、綺麗に色付いた木々の下を何気なく流れる小川のせせらぎに心が和みます。
紅葉ははじめ四季折々の姿を愛で、何事にも一喜一憂せず、心穏やかに日々を送れば・・・と思います。

北野病院 公式Facebookをご覧ください！
携帯電話やスマートフォンからカンタンにアクセスいただけます。



寄附者一覧 (2020年7月～9月)

【法人】匿名 8社様 【個人】 和田廣子様 大西一美様 岩山幸子様 吉田貞子様
 門田 孝三郎様 福島則幸様 高月波子様 匿名 9名様 (順不同)



患者様と北野病院をつなぐ連絡帳

きたの通信

No.74 2020. 秋号

公益財団法人 田附興国会 医学研究所
北野病院



吹田市 万博記念公園

特集

赤ちゃんの様子をご家族にお届けします。
NICUにおけるオンライン面会について

これって何？
リウマチ教室って、なにが学べるの？

かんごホットToday
当院の「小児科病棟について」のご案内

栄養部だより
災害時の「食事の備え」はできていますか？

きたのQ&A
患者さんからいただいた、ご質問の一部にお答えします！

きたのトピックス・北野病院からのお知らせ

特集

赤ちゃんの様子をご家族にお届けします。
NICUにおける

オンライン面会について

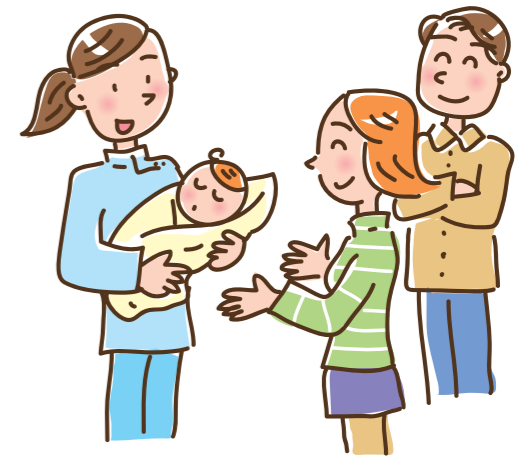
小児科 未熟児新生児部門 部長 水本 洋



水本部長



ところが新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、面会制限が開始になりました。すべての赤ちゃんを感染症から守るために必要な対応ですが、ご両親さえもNICUで赤ちゃんとも面会できないという状況は、とてもつらいものでした。スタッフでアイデアを出し合い、赤ちゃんの写真や動画にメッセージを添えてお届けすることを始めました。そして以前から温めていた、オンライン面会の計画を実現することができました。



オンライン面会には、NICU内の精密機器に影響を及ぼさず、個人情報漏れることのないシステムを採用しており、安心して使用していただくことができます。まだ退院の予定のない赤ちゃんの様子を、一足先にご家族にご覧いただくことができます。お貸しする端末には赤ちゃんが映り、お爺ちゃん、お婆ちゃん、お兄ちゃん、お姉ちゃん、皆さんにご覧いただけます。タイミングが良ければ声を聞けるかもしれません。北野病院にある端末には皆さんが映っていますので、手を振ったり声をかけたりしてあげてください。「会えるのはまだまだ先のことだと思っていたので嬉しい」「動画よりも身近に感じることができました」と好評をいただいています。もちろん直接赤ちゃんに会っていただくことが一番です。早くそれが可能になる日常に戻ることを願っています。

また一部の産婦人科開業医さまには同じ専用端末をお貸ししています。赤ちゃんが北野病院に搬送された場合、出産後間もないお母さんはまだ外出できないことが多いでしょう。オンライン面会システムを使えば、担当医から直接赤ちゃんの検査結果や治療方針について説明を聞き、搬送後の赤ちゃんの様子をご覧いただくことができます。突然赤ちゃんのNICU入院が決まって、不安でいっぱいのご家族を支援するために、このシステムは今後も継続・拡大してゆく予定です。

オンラインで繋ぐ親子の絆

NICU(新生児集中治療室)では、未熟な状態で生まれた赤ちゃんや、生後まもなく手術が必要になる赤ちゃん、感染症などに対して治療が必要な赤ちゃんをお預かりして、24時間体制で管理をしています。人工呼吸管理や一酸化窒素吸入療法、低体温療法など高度な医療も可能です。1日も早く赤ちゃんが元気に退院できるように、スタッフ一同努力しています。

赤ちゃんを抱っこしたり、ミルクを与えたり、話しかけたり、赤ちゃんからの反応を感じたり・・・本来ご出産の後にはたくさんの触れ合いの機会があります。赤ちゃんをNICUにお預かりするということは、ご家族からその機会を奪ってしまっているのと同じことです。だから私たちは、ご両親がNICUに面会にいらした際には、赤ちゃんの状態が許す限り、できるだけ触れ合いの機会をもって頂けるよう心がけています。

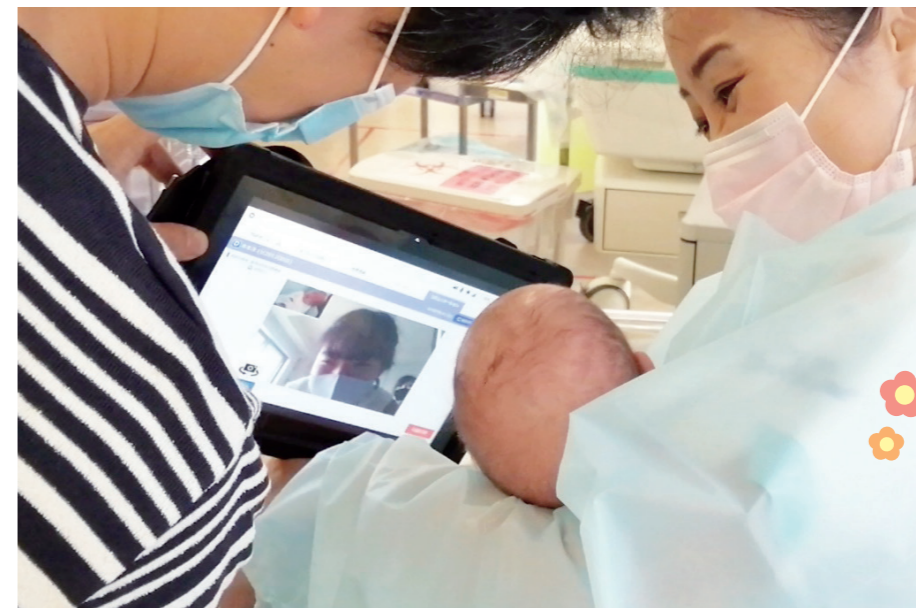


写真:オンライン面会の様子
ご自宅ではお爺ちゃん、お婆ちゃん、皆さん勢揃いでした。

かんごホット Today



当院の「小児科病棟について」のご案内

子どもたちの笑顔のために、安心・安全を守りがんばります!

小児科病棟には、日々様々なお子さんが治療や検査で入院されます。慣れない入院生活の中、不安や緊張から泣いてしまう事もある子どもたちに、私たちスタッフは少しでも楽しい思い出を残してもらいたく、様々なイベントを企画しています。その一環として「夏祭り」を実施しています。

今までの夏祭りでは、ヨーヨー・(おもちゃの)金魚すくい・コイン落としなどをデイルームで楽しんでいただいていた。今年はコロナの影響で、夏祭り自身の実施が危ぶまれ、一度は中止!?の声があがったのですが、感染面・衛生面などを十分に考慮し、「今できること」を何度も何度も検討を重ね「夏祭り」を実行することにいたしました。



今年の夏祭りの目玉は「うちわ製作」でした。一人ひとりの部屋を夏祭り担当の看護師・保育士がキャラクターのお面を被って訪室し、手か足に赤い絵の具を塗り、事前に下絵を描いておいたうちわに手形・足形を採らせていただきました。かわいい手・足形に目玉をつけてできたのは…真っ赤なかわいい金魚です。子どもたちは「うわ〜」と自分で作った金魚にニッコニコ。保護者の方からもとても喜んでいただきました。



その他に、廃材を利用した手作り輪投げも準備しました。景品には、ヨーヨーや、ボランティアさん・地域の方からいただいた寄付の文房具やおもちゃ、折り紙の駒などを輪投げの的として遊んでいただきました。最後は記念写真もバチリ!! 写真と景品は全てプレゼントさせていただき、とても喜んでもらえました。

季節感を感じにくい入院生活ですが、これからも子どもたちの笑顔のために、安心・安全を守りながらスタッフ一同がんばります!!

夏祭り企画担当



ボランティアの方より工作キット等をご提供いただきました!

医療のコトバ



これって何?

聞いたことがあるような、ないような? 難しい医療用語などをわかりやすく解説します!

リウマチ教室って、なにが学べるの?

A

治療やリハビリ体操、サポートしてくれる道具をご紹介します体験型の教室です。

「関節リウマチ」と聞くと珍しい病気のように思われるかもしれませんが日本人の1%弱が関節リウマチの患者さんと言われており決して珍しい病気ではありません。また、関節リウマチは「関節が痛くなって変形する病気」と思われ関節にのみ注意が向きがちですが、実際には全身に炎症が及び、治療しないままですと肺や腎臓、血管などにも合併症が出てきて非常に生活の質を下げてしまうこともあります。一方で、ここ20年の関節リウマチの治療の進歩は目覚ましいものがあり、適切な治療を行うことで病気の進行を抑えるだけでなく痛みのほとんどない生活を送ることも出来るようになってきています。

当院では月に1回、第3木曜日のお昼から1時間程度リウマチ教室を開催しております。教室では難しく思われがちな関節リウマチの症状や治療薬などの説明を専門のスタッフが説明したり、知識だけではなく、関節リウマチ患者さんの動きをよくするリハビリ体操や、不幸にも関節変形が起こってしまった方の動きを補助してくれる道具をご紹介しますような体験型のイベントも組み入れております。加えて、来場いただいた方のご質問をできる限りお受けしてお答えするようにしており、双方向的なイベントになるように心がけております。

今年度は新型コロナウイルスの関係でリウマチ教室は開催できておりませんが、開催できる状況になりましたら「きたの通信」や「ホームページ」などで開催情報をお知らせさせていただき予定にしております。当院通院中の関節リウマチ患者さんだけでなく、どなたでも自由に参加していただけます。ぜひご参加ください。





栄養部ナにより

vol.6

災害時の「食事の備え」は
できていますか？

豪雨や台風、地震などの自然災害は思いもよらない時に突然迫ってきます。毎年、各地で被害が起こっていますが、皆さんは日頃の備えはできていますでしょうか。大規模な災害が起こると、店頭で食品を手に入れることが難しくなるほか、ライフラインが止まり、普段と異なる環境での生活を余儀なくされる場合もあります。このような時でもできるだけ栄養バランスの整った(主食・主菜・副菜がそろった)食事をとり、体調管理が行えるようにしておきましょう。最低3日分～1週間分の備蓄が望ましいとされています。

(農林水産省:家庭備蓄の実践アイデア)

日頃店頭で
購入できる
備蓄食品の例

主食	主菜	副菜	飲み物
レトルトごはん、レトルト粥、缶詰パン、乾パン、シリアル	魚や肉、豆などの缶詰、レトルト食品、フリーズドライ食品	野菜の缶詰、野菜ジュース、乾物(切干大根、わかめ、大根葉など)、インスタントスープ	水、お茶
	●災害時は主食(炭水化物)に偏りがち。たんぱく質の補給をしましょう。	●ビタミン・ミネラル、食物繊維をとって便秘や口内炎予防をしましょう。	

- *ローリングストック(普段から多めに食材や加工品を購入し、使ったら使った分だけ新しく買い、一定量の食料を家に備蓄しておくこと)を行っておくと便利です。
- *大型スーパー等の防災コーナーやホームセンターなどでは非常用食品が販売されているので確認してみましょう。
- *カセットコンロやポリ袋、ラップ、アルミホイル、キッチンペーパー、除菌スプレー、割りばし、プラスチックスプーンなどがあると、家庭での備蓄食品を食べる時に活用できます。



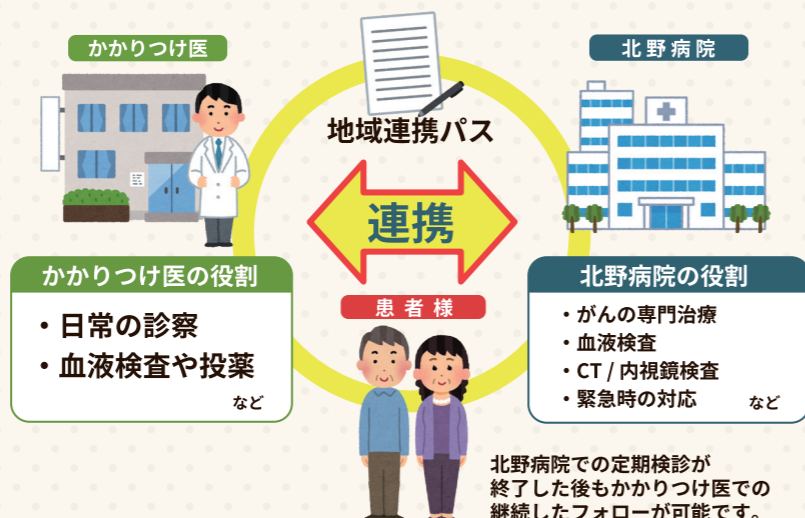
いろいろ知りたい、聞いてみたい

きたのQ&A

患者さんからいただいた、ご質問の一部にお答えします！

Q がん医療地域連携パスってなんですか？

A 『がん地域連携パス』とは、北野病院で手術などの治療後に、当院の主治医と地域のかかりつけ医が、患者様の治療経過を共有するための「治療計画書」のことをいいます。この治療計画書に沿って「2人の主治医」が連携して患者様をサポートしていきます。当院を退院後、日常の診療やお薬の処方はこちらかかりつけ医が行い、専門的な治療や検査は北野病院で行います。これにより、当院までの通院のご負担(移動や長い待ち時間)の軽減と、ご自宅近くのかかりつけ医に、安心してお体のご相談をいただけるというメリットがあります。また、緊急時は、かかりつけ医と連携して当院で対応いたします。詳しくは、地域医療サービスセンターまでお気軽にお問合せください。



北野病院での定期検診が終了した後もかかりつけ医で継続したフォローが可能です。

就任のご挨拶



看護部長
寺井 美峰子

この度、看護部長に就任いたしました。北野病院の看護部は“へだてなくよりの確にこまやかに”という理念をかかげています。チーム医療メンバーの一員である看護師が、他の職員と協力して、患者さん中心の看護を的確に、こまやかに実践することです。また、安全・安心で質の高い看護を提供することも目指しています。この理念・方針を、日々実現していけるよう努めてまいります。

一人ひとりの看護師が、北野病院に通院・入院される患者さん一人ひとりに寄り添って、満足いただける看護を提供できるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

ご寄付ありがとうございます！



ベトナム戦争で散布された枯れ葉剤の影響で結合双生児として生まれた「ベトちゃん、ドクちゃん」と言えばご存じの方もいらっしゃると思います。

日本の医師らによって分離手術を受け、現在もベトナムで活躍されておられるドクちゃんことグエン・ドクさんより、8月24日、日本ベトナム友好協会大阪府連合会を通してサージカルマスク3,000枚のご寄付をいただきました。



まだ新型コロナウイルス感染症の流行収束が見通せない状況において、当院にとっても非常にありがたいお話でした。この場をお借りして、改めて御礼申し上げます。

当院では引き続き医療用防護具等のご寄付を承っております。ご支援をいただける際は、庶務課(直通番号06-6131-2911)までご連絡ください。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

感染予防に正しく手を洗いましょう！



患者様と北野病院をつなぐ連絡帳

きたの通信 No.74 2020.秋号

企画・製作/広報室 発行日/2020年10月末日
www.kitano-hp.or.jp/